

平成 29 年度 森ノ宮医療大学入学式告辞

新入生の皆様、森ノ宮医療大学 保健医療学部・保健医療学研究科・助産学専攻科へのご入学、誠におめでとうございます。在学生・教職員一同、心より歓迎いたします。そして、保護者の皆様、ご家族の方々におかれましても、心よりお祝いを申し上げます。また、御来賓の皆様におかれましては、本日の御臨席まことにありがとうございます。平素の当大学に対する御指導・御支援に深く感謝申し上げる次第でございます。

平成 19 年に開設された森ノ宮医療大学は、昨年、創立 10 年の節目を迎えました。まだまだ若い大学ではありますが、この 10 年間の飛躍は著しいものと自負しております。鍼灸学科・理学療法学科の 2 学科で発足し、平成 23 年には看護学科・大学院修士課程、平成 28 年度からは臨床検査学科・作業療法学科・助産学専攻科、さらに来年度からは臨床工学科が加わる予定であり、医療分野に特化した医療系総合大学として発展を続けています。教職員一丸となって大学力向上に努め、多くの優秀な医療人を輩出し、常に革新的な挑戦を続けて参りました。わずか 10 年の間で、これほどの成長を達成し、医療界からも高い評価を頂き、大学の知名度を高めることができたことは我々の大きな誇りとするところであります。本学を志望する受験生の著しい増加は、まさにその表れであり、そして、その高い倍率の中で本学入学を勝ち取った皆様は、選ばれし者です。どうか、胸を張り、自らの能力に自信を持っていただきたいと思います。そして我々教職員一同も、選ばれし皆様を、“優れた医療人として立派に教え育てる”、そのように心新たにしております。“この大学に来てよかった”、卒業の時、必ず皆様にそう思っただけのものと思っております。そして、皆様の成長とともに、大学も歩みを止めることなく、さらなる飛躍を目指したいと思っております。

これから本学で医療専門職を目指す皆様に、いくつかの重要な概念を知ってもらいたいと思います。これらは現代医療の重要な考え方であり、そして本学の医療教育の根幹としているものでもあります。1 つは **Evidence-based Medicine EBM** です。**Evidence** とは根拠。すなわち、**EBM** とは科学的根拠に基づいた医療です。最新かつ最良の科学的根拠を把握した上で、合理的な医療を提供する。命に係わるかもしれない患者のケアにおいて、個人の経験や勘に頼る“独りよがりな医療”であってはなりません。**EBM**、科学的根拠に基づいた医療は、患者の権利に配慮した非常に重要なものです。

そして、これは聞きなれない言葉かもしれませんが、**NBM, Narrative-based Medicine** という考え方があります。ナラティブとは物語です。すなわち、物語に基づいた医療、物語を紡ぐ医療ということです。ここで言う物語とは、患者の物語です。患者が対話を通じて語る病気の経緯、病気について今考えていること、これまでの人生、価値観、家族。患者それぞれに物語があります。そこに目を向けること、それこそが、“患者に寄り添う”ということです。単に病気を見るだけではない、様々な患者背景を考慮した全人的医療です。患者の言葉に耳を傾け、寄り添い、その物語を共に紡いでいく・・・医療人として決して忘れてはならない心です。科学的根拠に基づく医療：**EBM** と、物語を紡ぐ医療：**NBM**。**EBM** と **NBM** は互いに補完しあう医療の両輪であり、患者中心の医療には不可欠なものです。科学的な目と患者に寄り添える人間性。このふたつを合わせ持つすばらしい医療人に育ってほしいと願っています。

そしてもうひとつ。近年非常に重要視されている **Inter-Professional Work**、**IPW** というものです。**Inter** は架け橋、**professional work** は専門職。すなわち、専門職連携あるいは他職種連携、わかりやすく言えば、チーム医療です。異なる医療職種がチームを組み、互いの持ち味・専門性・スキルを生かしながら患者に対応する。チーム医療は先進医療から在宅・高齢者医療など様々な医療現場で展開されています。本学は実践的なチーム医療教育に重点を置いており、そこに魅力を感じ、本学を選んで頂いた方も多いのではと思います。多種多様な医療職種を育成する学科を持ち、また学科の垣根を越えた学びができる医療大学は決して多くありません。本学では、これら各分野でさまざまな専門知識・技術を有する臨床能力の高い教員が確保されており、確かな知識と技術を学ぶことができます。チーム医療教育は、医療系総合大学だからこそできることであり、本学の強みでもあります。自らの職種だけでなく様々な他職種を理解し、コミュニケーション能力を高め、チーム医療を牽引する医療人に成長して頂きたいと願っております。

最後に告示にはふさわしくないことですが一言申し上げます。皆様は、近隣、電車の中など常に周囲の人から森ノ宮医療大学の学生として注目されています。将来の医療人として恥ずかしくない、節度ある振る舞い、言動を心掛けてください。マナーを守ることは、社会人の基礎です。どうか、自分を律する力強さを持ってください。

そして禁煙について。これまでも医療人を育てる大学として禁煙を啓発してきましたが、本学はこの4月に禁煙宣言をしました。敷地内、周辺とも全面的に禁煙となっております。そもそも未成年の諸君は将来の医療人として自覚を持ち、ここに生涯の禁煙を誓っていただきたいと思います。

今日、ここで、皆様は医療人としてのスタートラインに立ちました。どうか、本学で有意義な大学生活を送ってください。幅広い知識と高度な専門技術を有し、高い倫理観を備えた専門職医療人を目指して勉学に励むとともに、生涯の良き友を作り、社会見聞を広め、青春を謳歌してほしいと思います。教職員一同、最大限の応援を惜しみません。そして、本日、出席されている保護者の皆様、ご家族の皆様にもどうかご協力をお願いしたいと思います。

平成29年度森ノ宮医療大学入学生363名の輝かしい前途を祈念しております。本日は誠におめでとうございます。

平成29年4月4日
森ノ宮医療大学学長 荻原俊男